

比較サイトにM&A専用ページ

シースタイル 関連業種20億円規模まで

不動産売却や賃貸管理、不動産投資などの一括見積もり比較サイト「スマイスター」を運営するシースタイル（東京都中央区、川合大無社長）は15日、スマイスター内にM&A専用ページ「スマイスター不動産業界M&A」を開設する。

鈴木智博社長）と業務提携し、同社が専用ページ内のコンテンツをすべて提供する。両社は、今後人口が減少するとともに、経営者の高齢化が進むことから、不動産業界でM&Aが活性化するとらみ、M&Aの啓蒙や情報発信を兼ねたマッチングサービスを開発。専用ページを通してM&Aの相談や問い合わせ、依頼を

受け付けるとともに、ニュースやコラムなどを掲載し、M&Aに関する情報を発信する。現在、不動産関連のM&Aは売り手市場となっている。大手デベロッパーや中堅企業からの問い合わせが多く寄せられ、特に収益性が分かりやすくスケールメリットも生かせるため、地域に密着した賃貸管理会社の人気が高いという。

インクゲロウの担当者「売り手側にとっても、上場企業の傘下に入ることで、従業員の信用度が高まり、住宅ローンの審査が通りやすくなるなどの利点がある」と話す。賃貸管理や売買仲介のほか清掃、メンテナンス、電気工事、内装、建築など幅広く不動産に関わる業種を対象とし、1億〜20億円規模の中小企業の

売却を中心とする。問い合わせや相談は無料で、M&A成功時ののみ報酬が発生し、両社で分け合う。「スマイスター」の全面リニューアルも同時に実施する。構成などを変更して閲覧を見やすくし、デザインも一新し、スマートフォンやタブレット端末でも使えるようにした。不動産業界ニュースを毎週

更新するとともに、コンテンツ充実の一環として同サイトに協力している不動産会社のインタビューや不動産に関する基礎知識・解説コラムを掲載する。スマイスターを活用した他社との業務提携は今回が初めて。今後も他業種との連携を視野にしながら「不動産業界のポータルサイト」を目指す。